



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月4日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6457 URL <https://www.glory.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三和 元純  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	145,966	△9.2	7,403	△41.7	7,244	△39.4	3,156	△56.4
2020年3月期第3四半期	160,785	△3.6	12,697	10.2	11,950	5.8	7,237	11.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,542百万円 (△44.2%) 2020年3月期第3四半期 6,344百万円 (△25.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	52.22	—
2020年3月期第3四半期	119.78	—

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2021年3月期第3四半期 18,719百万円 (△18.7%) 2020年3月期第3四半期 23,013百万円 (9.9%)

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2021年3月期第3四半期 6,615百万円 (△34.5%) 2020年3月期第3四半期 10,097百万円 (9.6%)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	310,109	181,939	58.0	2,976.87
2020年3月期	308,763	187,143	60.0	3,064.61

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 179,956百万円 2020年3月期 185,196百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	32.00	—	34.00	66.00
2021年3月期	—	30.00	—		
2021年3月期 (予想)				36.00	66.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2021年2月4日）公表いたしました「2021年3月期 連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	△5.0	11,000	△38.6	10,000	△36.1	4,500	△49.8	74.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正については、本日（2021年2月4日）公表いたしました「2021年3月期 連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（参考）EBITDA 2021年3月期 25,900百万円

のれん償却前当期純利益 2021年3月期 9,200百万円

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）Acrelec Group S.A.S.、除外 1社（社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	63,638,210株	2020年3月期	63,638,210株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,866,078株	2020年3月期	2,866,029株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	60,447,366株	2020年3月期3Q	60,420,684株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬B I P信託口」及び「株式付与E S O P信託口」が所有する当社株式があります（2021年3月期第3四半期 320,440株、2020年3月期 341,500株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、持直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、景気回復ペースは減速しました。欧米では、経済活動の再開が段階的に進められてきましたが、第3四半期以降再び抑制されることとなりました。一方で、ワクチン接種が開始されるなど、同感染症の収束に向けた取組みの進展が見られました。アジアでは、中国において引き続き景気は持ち直しているものの、全体としては先行き不透明な状況でありました。また、わが国経済におきましても、個人消費に回復の兆しが見られたものの、企業の設備投資に対する慎重な姿勢が継続するなど、景気の先行きは予断を許さない状況でありました。

こうした状況のなか、海外市場においては、中国での事業活動は平常に近いレベルまで回復しており、売上高は前年同期を上回りました。欧米では、同感染症の再拡大の影響により金融市場における販売は苦戦しましたが、リテール市場においてはコンタクトレス・タッチレスニーズを受け、セルフ型レジつり銭機の販売は増加いたしました。また、2020年4月に買収したセルフサービスキオスク等を販売するフランスAcrelec Group S.A.S.の業績につきましても、徐々に回復傾向にあります。

国内市場においては、売上高・利益ともに前年同期を下回りましたが、新500円硬貨発行に伴う改造作業などによる保守売上高の増加に加え、人手不足及び新型コロナウイルス感染予防を背景とした省人化・コンタクトレスニーズの高まりを受け、セルフ型レジつり銭機やセルフ型診療費支払機の商談が想定を上回るペースで進みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、145,966百万円（前年同期比 9.2%減）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、88,547百万円（前年同期比 17.6%減）、保守売上高は、57,418百万円（前年同期比 7.7%増）でありました。利益につきましては、売上高の減少により営業利益は、7,403百万円（前年同期比 41.7%減）、経常利益は、7,244百万円（前年同期比 39.4%減）であり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,156百万円（前年同期比 56.4%減）となりました。

なお、売上高、利益ともに従来予想を上回る見通しとなりましたので、2020年11月6日に公表した2021年3月期の通期連結業績予想を上方修正しております。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

## (金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は前年同期並みでありました。また、新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、32,907百万円（前年同期比 7.4%増）、営業利益は、5,779百万円（前年同期比 129.4%増）となりました。

## (流通・交通市場)

新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加したものの、主要製品である「レジつり銭機」の販売は、前期にあった大口需要の反動により低調でありました。また、「券売機」の販売も、飲食店及びレジヤ施設における需要が減少したことにより低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、32,948百万円（前年同期比 11.6%減）、営業利益は、2,455百万円（前年同期比 36.6%減）となりました。

## (遊技市場)

主要製品である「カードシステム」及びホール向け「賞品保管機」などの販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、7,811百万円（前年同期比 51.0%減）、営業損益は、159百万円の損失（前年同期は営業利益 1,873百万円）となりました。

## (海外市場)

米国・欧州では、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動に制約を受け、金融市場向け「紙幣入出金機<RBGシリーズ>」の販売は低調でありました。流通市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売は前期並みでありました。一方、アジアにおいては、「紙幣入金整理機<UWシリーズ>」の販売が順調でありました。また、OEM製品であるATM用「紙幣入出金ユニット」の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、70,449百万円（前年同期比 3.9%減）、営業利益は、1,073百万円（前年同期比 82.9%減）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間より、Acrelec Group S.A.S.及びその子会社の損益を連結の範囲に含めております。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、1,849百万円（前年同期比 48.3%減）、営業損益は、1,744百万円の損失（前年同期は営業損失 1,854百万円）となりました。

上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを考慮し、2020年11月6日に公表した数値より上方修正しております。

なお、詳細につきましては、2021年2月4日に公表の「2021年3月期 連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	71,532	53,571
受取手形及び売掛金	49,603	45,291
電子記録債権	1,617	769
有価証券	2,051	50
商品及び製品	31,053	40,297
仕掛品	7,989	8,469
原材料及び貯蔵品	12,639	13,102
その他	5,577	7,716
貸倒引当金	△656	△1,009
流動資産合計	181,408	168,258
固定資産		
有形固定資産	38,503	38,417
無形固定資産		
顧客関係資産	17,968	17,201
のれん	43,246	54,573
その他	6,699	7,771
無形固定資産合計	67,915	79,547
投資その他の資産		
投資有価証券	8,352	10,049
その他	12,608	13,888
貸倒引当金	△25	△50
投資その他の資産合計	20,935	23,887
固定資産合計	127,354	141,851
資産合計	308,763	310,109
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,346	9,231
電子記録債務	7,154	5,983
短期借入金	24,931	18,775
1年内返済予定の長期借入金	20	21
未払法人税等	1,520	1,149
賞与引当金	7,088	4,679
役員賞与引当金	109	64
株式付与引当金	39	—
その他	33,412	37,399
流動負債合計	85,623	77,305
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	46	7,107
株式付与引当金	260	247
退職給付に係る負債	3,243	3,338
その他	12,445	20,170
固定負債合計	35,996	50,864
負債合計	121,620	128,170

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	15,961	11,493
利益剰余金	163,070	162,337
自己株式	△9,312	△9,249
株主資本合計	182,611	177,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△455	122
為替換算調整勘定	5,194	4,258
退職給付に係る調整累計額	△2,154	△1,898
その他の包括利益累計額合計	2,584	2,482
非支配株主持分	1,946	1,982
純資産合計	187,143	181,939
負債純資産合計	308,763	310,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	160,785	145,966
売上原価	96,382	87,703
売上総利益	64,403	58,263
販売費及び一般管理費	51,706	50,859
営業利益	12,697	7,403
営業外収益		
受取利息	152	163
受取配当金	143	143
補助金収入	39	413
投資事業組合運用益	88	138
その他	177	235
営業外収益合計	602	1,095
営業外費用		
支払利息	567	420
為替差損	388	514
持分法による投資損失	202	203
その他	190	116
営業外費用合計	1,349	1,254
経常利益	11,950	7,244
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	6	19
特別利益合計	6	23
特別損失		
固定資産除却損	15	29
投資有価証券評価損	120	54
その他	0	21
特別損失合計	135	104
税金等調整前四半期純利益	11,821	7,163
法人税等	3,813	3,552
四半期純利益	8,008	3,611
非支配株主に帰属する四半期純利益	771	455
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,237	3,156

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	8,008	3,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	572
為替換算調整勘定	△1,795	△902
退職給付に係る調整額	101	256
持分法適用会社に対する持分相当額	1	4
その他の包括利益合計	△1,664	△68
四半期包括利益	6,344	3,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,718	3,090
非支配株主に係る四半期包括利益	625	452

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社であるGlory Global Solutions (International) Ltd. は、Acrelec Group S.A.S. の非支配株主に対して、子会社株式の売建プット・オプションを付与しております。当該売建プット・オプションについては、その他の固定負債として認識するとともに、資本剰余金を減少させております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が4,468百万円減少しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Acrelec Group S.A.S. の発行済株式の80%を取得したことに伴い、同社の子会社を含む31社を連結の範囲に含め、2社を持分法適用の範囲に含めております。なお、Acrelec Group S.A.S. は、当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大が日本を含む全世界で収束時期が未だ不透明な状況にあることから、当連結会計年度末まで影響が続くとの仮定に基づき、たな卸資産の評価、投資の減損、のれんの減損等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	30,654	37,252	15,956	73,343	157,206	3,579	160,785	—	160,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,654	37,252	15,956	73,343	157,206	3,579	160,785	—	160,785
セグメント損益	2,519	3,875	1,873	6,284	14,551	△1,854	12,697	—	12,697

- (注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。  
2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	32,907	32,948	7,811	70,449	144,117	1,849	145,966	—	145,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	32,907	32,948	7,811	70,449	144,117	1,849	145,966	—	145,966
セグメント損益	5,779	2,455	△159	1,073	9,148	△1,744	7,403	—	7,403

- (注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。  
2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。